

地域特産物マーケティング研修会 実施要領

目 的

近年、伝統野菜などの地域の気候や風土で育った農林水産物が注目され、首都圏で在来種野菜やこだわりを持った農産物の販売網が広まってきている。

そこで、首都圏での消費者動向、こだわった農産物の流通について研修会を実施して、生産者の理解促進を図る。

日 時：平成26年6月29日（日）13：30～15：30 （受付 13：00～）

場 所：ユー・アイふくい（福井県生活学習館）学習室301、302

〒918-8135 福井市下六条町14-1 TEL：0776-41-4200

主 催：福井県

共 催：伝統の福井野菜振興協議会

参集者：伝統の福井野菜等生産者、流通業者、JA、市町、県

内 容

1) 「在来種の魅力と首都圏での野菜の流通について」 13:40～14:30

warmer warmer 代表 高橋一也氏

2) 意見交換会 14:40～15:30

話題提供 ①伝統の福井野菜「杉箸アカカンバ」の取り組み

山口一夫氏（杉箸アカカンバ生産組合 代表）

②伝統野菜等のこだわり野菜の流通について

松尾正則氏（株式会社 八百五商店 専務）

意見交換

講師プロフィール warmer warmer 代表 高橋一也氏

株式会社レストランキハチで調理師として働き、「有機野菜」と出逢う。

1998年に自然食品小売業、株式会社ナチュラルハウスに入社。

アメリカ、ヨーロッパのオーガニックスーパーマーケットをベンチマークし、オーガニック食品の販売、店舗統括、販売企画、商品部青果バイヤー等の業務を行い、取締役へ就任。2011年退社。日本の有機農業生産者の支援と新たなオーガニック市場の開拓活動（「自家採種、固定種、在来種」を守る）、固定種・在来種の知識を語り繋げる活動として、移動八百屋や企画イベント「種市」、トークショー、講演会などを開催。